

● 内政

1 青年・スポーツ・芸術省、ザンビアの総人口の半数以上が貧困であると報告

青年・スポーツ・芸術省は、ザンビアの総人口の54.4%が貧困層であり、極度の貧困層は総人口の40.8%を占めるとの報告書を公表した。貧困層のうち76.6%は農村部に居住しており、都市部との格差が生じていることが改めて明らかとなっている。また、同報告の中で、HIVの感染率については2018年の全国調査時の11.1%と大差ない11%となっており、引き続きの対策が求められるとしている。（12月7日付 News Diggers）

2 大統領、国民に対し農業拡充を奨励

ヒチレマ大統領は、国民に対して飲酒やSNSを愛好するのではなく、農業を拡充し勤勉な労働をするよう奨励した。同種の発言は度々発せられており、ヒチレマ大統領の腐心が伺える。（12月7日付 News Diggers）

3 政府、反汚職活動の推進プランを策定

12月9日に実施された反汚職記念イベントの中で、大統領は政権発足後の反汚職の取組についての成果を発表するとともに、更なる汚職撲滅のための取組を明記した推進プランを発表した。法執行機関によって適切に没収された汚職由来の資金は、教育や保健衛生のための政府資金として活用されるとしている。（12月10日付 Daily Mail）

4 大統領、情報公開法（ATILAW）に署名

ヒチレマ大統領は、情報公開法案に署名した。情報公開法の制定にともない、国民やメディアが情報により容易にアクセスできるようになり、民主主義の更なる発展が期待される。（12月22日付 Lusaka Times）

5 カクボ外相、中国人企業家との不透明な取引が発覚

信頼できる情報筋によると、中国人企業家との鉱山権利取引に関して、カクボ外相が不透明な取引に関与した可能性がある。なお、25日にヒチレマ大統領はカクボ外相を大統領官邸に召喚し、事情を聴取した模様。（12月26日付 News Diggers）

6 カクボ外相、辞任

前項の疑惑に関連し、26日にカクボ外相は外務・国際協力大臣の職を辞任すると発表した。中国人との取引はプライベート事項で問題無いとしつつ、円滑な政権運営の為に辞任をすると表した。一方で、反汚職委員会は適切に捜査を進め、必要に応じ対応をすると表した。なお、有識者やNGOの反応として、円滑な政権運営のために自ら辞任をするということはアフリカでは希有な例であるとし、評価する向きが見える。（12月27日付 News Diggers）

7 ハインベ法相、外相代行に就任

前項のカクボ外相辞任に関連し、ヒチレマ大統領は12月28日付でハインベ法務大臣を外相代行に任命した。ハインベ外相代行は、後任の大臣が任命されるまで任を務める。（12月29日付 News Diggers）

● 外交・対外関係

1 大統領、COP28に参加

11月30日から12月3日にかけて、ヒチレマ大統領はドバイを訪問し、COP28に参加した。大統領はアフリカにおける気候変動対策及び食糧危機について訴えた。また、COP28公式会合以外には、中国李強首相、仏マクロン大統領、グテーレス国連事務総長らと会談を実施した。（各種報道まとめ）

2 大統領、中国銀行副総裁と会談

12月5日、ヒチレマ大統領は当地訪問中の中国人民銀行林副総裁と会談を実施した。会談の中でヒチレマ大統領は、9月の中国訪問での両国間の共同宣言の実行にあたって中国人民銀行などの果たす役割は大きいと期待が述べた。林副総裁は、両国間貿易の際の人民元決済の利用などについて触れた。(12月6日付 News Diggers)

3 カクボ外相、マダガスカル大統領就任式典へ出席

12月16日、カクボ外相は、マダガスカルで開催されたラジョリナ大統領の就任式典へ、ヒチレマ大統領の代理として出席した。ヒチレマ大統領は南部アフリカ開発共同体(SADC)政治・防衛・安全保障オーガントロイカ議長としての立場で、マダガスカルの人々が2023年11月の選挙前、選挙中、選挙後も平和を維持していることを称賛した。(12月16日付 外務・国際協力省 Facebook)

4 大統領、仏クリソーラ・ザカロブルー開発・国際パートナーシップ担当国務大臣と会談

12月19日、ヒチレマ大統領は、当地を訪問中のフランスのクリソーラ・ザカロブルー開発・国際パートナーシップ担当国務大臣と会談した。会談の中では債務再編プロセスの中でフランスの果たした役割に謝意が述べられた。また、フランス側からは総額2,300万ユーロの支援が表明された。内訳として、1,600万ユーロが予算支援として、400万ユーロが水道整備、150万ユーロが森林資源の保全、100万ユーロが工業資源管理開発に関して支出される。(12月19日付 News Diggers)

5 大統領、欧州議会外務委員会議員団と会談

12月21日、ヒチレマ大統領は当地を訪問中の欧州議会外務委員会議員団と会談を実施した。

会談では、人権、法の支配、民主主義の原則に基づく価値観の共有が再確認されるとともに、保健、貿易、環境保全、教育、貧困削減など、様々な主要分野におけるEUのザンビアに対する支援に感謝が述べられた。また、世界の平和と安定を促進するため、長引くロシア・ウクライナ戦争とイスラエル・ハマス紛争に改めて懸念が表明されるとともに、これらの紛争の平和的解決に向けたザンビアのコミットメントが再確認された。(12月21日付 外務・国際協力省 Facebook)

(了)